

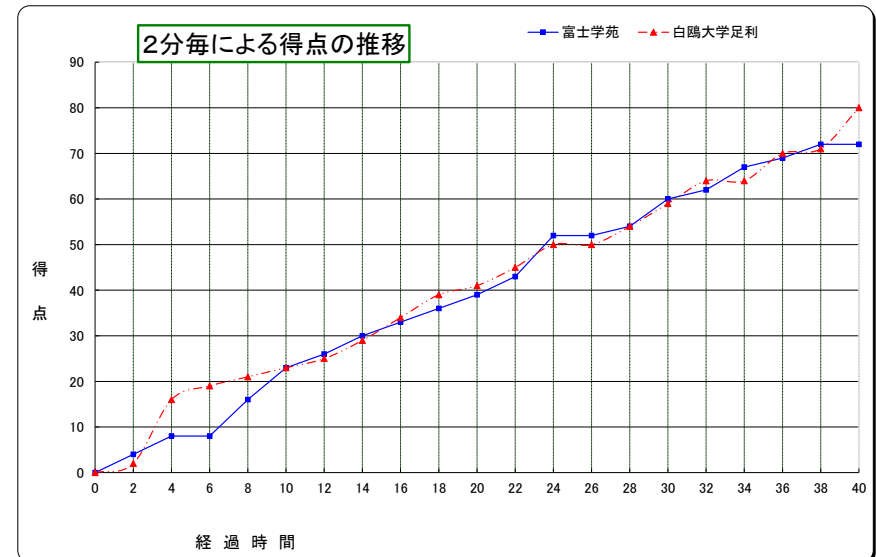
令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月3日(土)
カミケンシルドーム
1回戦

チームA 富士学苑 (山梨)	72	{	<table border="0"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>23</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>12</td><td>4th</td><td>21</td></tr> </table>	23	1st	23	16	2nd	18	21	3rd	18	12	4th	21	}	80	チームB 白鷗大学足利 (栃木)
23	1st	23																
16	2nd	18																
21	3rd	18																
12	4th	21																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	勝俣 結	9	0	2	4	10	1	6	2	2	5		1		2
5	古屋 蒼依	10	2	5	2	5			3	3	1		2		
6	白須 愛叶	17	5	14	0	3	2	2	2	2	2				3
7	長田 早礼	0							1						
8	天野 希咲	14	0	2	5	14	4	4		3	10				1
9	奥脇 花夢	0													
10	渡邊 リラ	22	0	1	8	17	6	8	2	2	3				3
11	湯山 陽	0			0	1					2				
12	渡邊 心陽	0							1		1				
13	渡邊 倅	0													
14	益本 珠菜	0													
15	杉本 鈴	0													
16	佐藤 由彩花	0													
17	宮下 小雪	0													
コーチ	武藤 優														
		72	7	24	19	50	13	20	11	12	24	0	3	0	9
	確率		29.2%		38.0%		65.0%			計	36				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
0	中塚 優月	0													
2	星野 琉奈	7	0	1	3	9	1	2	3	6	9				
24	稲見 萌那	0	0	1					1	1					
25	大河 莉奈	0													
27	樋口 愛果	23	4	9	5	8	1	2	5	1	3				1
31	金子 朱里	0	0	1					1	3					1
42	只木 柚羽	0													
51	綿貫 莉里花	6	0	1	3	5			4	3					3
57	亀井 美玖	0													
63	河津 春香	4	0	4	2	7			2	5	2	1			1
71	根本 陽和	24	6	21	3	8			5	1	4	1			1
72	神尾 吏夢	0													
73	大河 那奈	16			8	9			3	6	9	1			1
83	小池 紀慧	0													
99	田中 詩乃	0													
コーチ	香山 孝之														
		80	10	38	24	46	2	4	24	19	34	0	3	0	8
	確率		26.3%		52.2%		50.0%			計	53				



戦評

1Q、白3-2ゾーン、青1-2-2オールコートゾーンプレス~マンツーマンでスタート。白#8の連続得点に対して青#71の3本の3Pシュートを含めて13得点でゲームが動いていく。6分経過で8対16と青がリードするが、白はオールコートマンツーマンプレスによる連続6得点で流れをとりもどす。さらに白#5のリバウンドシュート、3Pシュートで追いつき23対23で第1Q終了。

2Q、白3-2ゾーンをさらにアグレッシブにボールにアタック。青オールコートマンツーマンでがんばる。激しいディフェンスにお互い苦しみながらも白#10、青#73を中心に得点し、5分経過で30対31。2Q後半は、お互い激しいディフェンスからインサイドで得点できず3Pの打ち合いとなるがほぼイーブンで39対41の白鷗大学足利がリードで前半終了。

3Q、白3-2ゾーン、青オールコート1-2-2ゾーンプレス~マンツーマン。白は#4・5・6・8・10とバランスよく得点、青は#71・27が頑張り5分経過で52対50の一進一退のゲームが続く。激しいディフェンスはさらに激しくなり2分間両チーム得点なし。そこで白#4がドライブでねじこみ得点。すかさず青#63のトランジションからの連続ロング2Pシュートで逆転するが、終了間際に白#4のドライブとチームファールによる4本のフリースローで再逆転となり60対59で第3Q終了。

4Q、両チームディフェンスは変わらないがハードに守ることによるファールが目立ち始める。息をのむ激しさの中、白#10がこのゲームでは数少ないリバウンドシュートを決め、青#27がパワフルなドライブで得点をする。激しいゲームの中、お互いミスが増えるが気持ちを切らさずゲームが進んでいく。残り4分54秒青がタイムアウト、得点は67対66。タイムアウト後、ゲームの流れをつかんだほうが勝利に近づく。白#10のフリースローで71対71同点、青#71の3Pシュート、#2連続得点で4点差となり、白タイムアウト。残り1分33秒白のハイプレッシャーを青は逃れ72対80で40分間の息をのむ激しいゲームを白鷗大学足利が制した。

Ref	小柳 幸子	1st U	三角 峻	2nd U	小泉 恵
-----	-------	-------	------	-------	------